

調査票(内部環境)	作成日付	更新日付	作成者	承認者
ID:1-2s-00100				

調査・分析事項		調査・分析結果
内部環境	業務の体制（組織）	各支社にて営業部門が貸出業務の窓口となり、事業者との対応を行っている。 関係会社へ一部の業務を委託している。 【追加】設計部門への貸出業務の一元化が決定した。
	商品・サービス、取引先、取引形態	商品：設備設置スペースの貸し出し 取引先：事業者
	業務のチャネル	契約当事者は当社と事業者であるが、業務代行者として関係会社が受付業務を担当している。設備工事についても、一部を設備工事会社へ委託している。
	売上高、仕入高、総利益、データ量、業務量	実績：貸出件数の急増 設備設置スペース数：約×万基 貸出実績：延べ約×万基（HXX/末） 貸出申込数：前年比×倍以上の早さで急増 約○万基（HXX/上）→約○万基（HXX/下）→約○万基（HXX/上）
	業務の特徴・特殊性、今後の展開	独禁法ガイドライン施行・改訂に伴い、マニュアルの見直しが必要である。
	情報システム化の状況、進展度合い	契約管理（請求・収入管理）については、当社開発の貸出管理システム（PC版）を水平展開中である。全支店を調査したところ、工程管理、物件管理へのシステム導入の状況は以下のとおりであった。 工程管理：紙台帳による管理が×割、PC管理（各事業所 独自開発）が×割 物件管理：紙台帳による管理が×割、PC管理（各事業所 独自開発）が×割
	経営計画・情報化計画との関連	経営計画にある「設備設置スペース貸し出しの促進」という経営方針に基づき、支店業務の業務改革のスピードアップが求められている。
	その他	貸し出しのための当社設備改修のスピードアップを実現するためには、システム導入の他に工事の進め方そのものについても見直しが必要である。

企画段階から変化のある内容があれば追加する。